

臨床研究に関する情報公開および研究協力のおお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。通常の診療で得られた過去の記録情報をまとめることによって行う研究は後ろ向き臨床研究と呼ばれ、このような研究を行なう際、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされています。研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、下記の「お問い合わせ先」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。またこの研究については株式会社日立製作所病院統括本部倫理委員会の許可を得ています。

【研究課題名】 当院での大腿骨人工骨頭置換術に対する末梢神経ブロックの有用性の検討

【研究責任者名・所属】 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 麻酔科主任医長 岡部格

【研究目的】 大腿骨頸部骨折に対して施行する人工骨頭置換術の際には末梢神経ブロック法が有用であるといわれているが、施行する末梢神経ブロック法の種類の選択や使用する局所麻酔薬の種類・量などは施設によってまちまちである。本研究は当院でこれまでおこなってきた人工骨頭置換術に対する大腿神経ブロック、外側大腿皮神経ブロック、坐骨神経ブロックの効果を検討することを目的とする。従来との報告と合わせ、至適な末梢神経ブロック法の開発の一助となることを期待できる。

【研究期間】 倫理委員会承認日～2019年3月31日

【対象者】 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院で、2016年4月1日～2018年3月31日の間に大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術の際に末梢神経ブロックを施行した20歳以上の症例。

【方法】 電子カルテ・麻酔記録より末梢神経ブロックの際に使用した局所麻酔薬の種類・濃度・量、術中・術後の局所麻酔薬以外の鎮痛剤の使用量、局所麻酔薬の効果時間、麻酔方法・麻酔からの覚醒時間、術後の痛みの程度、合併症の有無に関する情報を入手し統計学的な処理・解析を行う。

【問い合わせ先】

株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 麻酔科主任医長 岡部格

〒321-0057 茨城県ひたちなか市石川町20番1 電話（代表）029-354-5111